

心臓疾患の診断に活用！ 心臓 CT 検査と心エコー検査

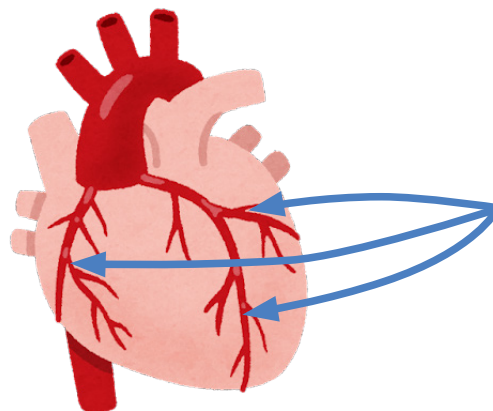
診療放射線技師 内山 裕利恵 臨床検査技師 竹内 民

今回は放射線科と検査科の共同記事です！心臓を調べる検査について解説します

心臓 CT 検査（冠動脈 CT）を ご存知ですか？

心臓は人体の中で大切な臓器の一つです。冠動脈とは心臓を動かすための栄養や酸素を心臓へ送る血管です。つまり、**冠動脈に異常があると心臓にも異変が起きる可能性が……。**

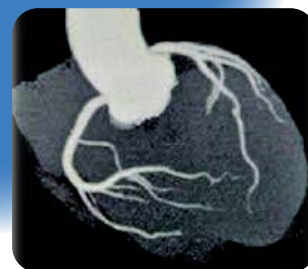
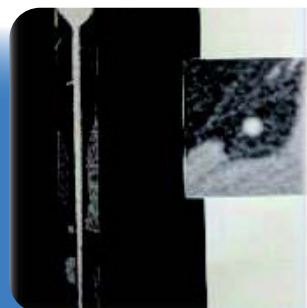
そんなとき、心臓 CT の検査を考えます。



これが冠動脈です

心臓 CTってどんな検査？

心臓 CT は X 線を使用して心臓を撮影する造影検査のことです。造影剤を使用することで、体内の臓器や血管を詳細に観察できます。撮影後、**立体的な心臓の画像や断面図、冠動脈の石灰化や狭窄の評価のための画像を作成します。**心臓の詳細な画像を撮影できるため**冠動脈の状態や心臓機能の評価、心筋梗塞の診断**などに使われます。



検査時の注意事項

造影剤とは別に心臓の動きを抑えるための薬を使用することもあります。他にも糖尿病の方で特定の薬を飲んでいる場合、検査の前後数日間は休薬することもあります。



心臓 CT を受けるのにメリットはあるの？



もともと心臓の検査は心臓カテーテルが主流でした。しかし、心臓カテーテルは合併症やさまざまな薬品による副作用のリスクがあり、さらに時間も費用もかかってしまう検査です。一方心臓 CT は心臓カテーテルよりはリスクが低く、短時間で終わる検査のため日帰りで検査を受けることが可能です。

もし心臓 CT を受けることになったら、不安に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、心臓 CT は心臓の状態を知る大切な検査です。わからないことがあれば事前に聞いてくださいね。

参考文献

Optima CT660 Series 出版：GE Healthcare